

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

佐野市	栃木県教育委員会（佐野市） 担当課：教育部学校教育課 電話番号：0283-20-3107
-----	--

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	9校	② 生徒数	2,675人	③ 部活動数	96部活
--------	----	-------	--------	--------	------

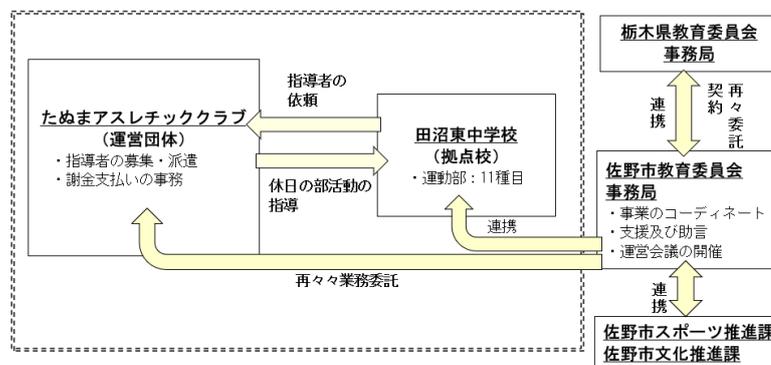
1.2 地域における現状・課題

- ・生徒数（部員数）や教員数（顧問教員数）の減少により、部活動の数をこれまで通り維持することが困難になり、休廃部に至る可能性がある。部活動の休廃部により生徒が希望する種目を選択できない状況がある。また、専門的な指導のできる顧問教員の異動により、それまで活発に行ってきた部活動が停滞することがある。
- ・部活動は、教員の長時間勤務の大きな要因であり、また、指導経験のない教員には多大な負担となっているため、教員の負担軽減を考慮した適切な指導体制づくりが必要である。
- ・学校部活動が教育活動において果たしてきた意義や役割などの成果を地域部活動へ移行する際にも継続できるように地域指導者を対象にした研修会（事故・セクハラ・体罰防止含む）を開催するなどして資質向上に努めていく必要がある。
- ・顧問や地域指導者が一貫した指導方針で指導に当たられるよう連携できる体制づくり、多様な競技種目における地域指導者の確保、学校職員に頼らない学校施設の管理体制（校舎等の開錠や施錠）づくりも必要である。

1.3 実践研究における取組目標

- 対象となる運動部活動顧問の時間外勤務総時間数が削減できるようにする。
- 指導を希望する教員が兼職兼業により、指導に当たれる仕組みづくりを進める。
- 専門的な技術指導による生徒の意欲や技術の向上を図る。 ○教員の負担感の軽減を図る。
- 中学生のスポーツ活動を地域が担える指導体制づくりを進める。 ○学校が関わらない地域主体の指導体制づくりを進める。

1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

(1) 地域指導者研修会の開催（5/11 第1回地域部活動推進研修会において）

- ・生徒の健康面への配慮、活動時間のバランスをとる観点から部活動ガイドラインに準拠した活動時間や休養日の必要性、生徒の事故防止、体罰・セクハラ防止など適正な活動の実施に係る内容の研修会を設け、指導者の資質向上を図った。

(2) 地域部活動連絡協議会の設置に向けて

- ・市内全校の地域移行を推進するために令和5年度に学校、スポーツ団体などの代表により組織した連絡協議会の設置を予定している。その準備としてスポーツ協会等の代表者を集めて「部活動の地域移行に係る意見交換会」を開催し、現在のモデル校の取組及び市内全体へ移行を進める取組（案）について説明し、意見交換の機会を行った。

(3) 教育委員会事務局等の担当者による打合せ

- ・市教育委員会事務局、市スポーツ振興課、市文化推進課の担当者会議を定期的に開催し、地域部活動に係る国や県の動向について情報共有を図るとともに、市内全校へ取組を拡大する方法や必要な運営団体の確保などについて検討を重ねた。

3. 実践研究校における取組について

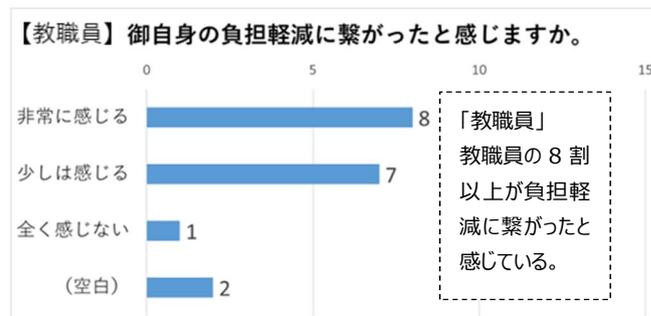
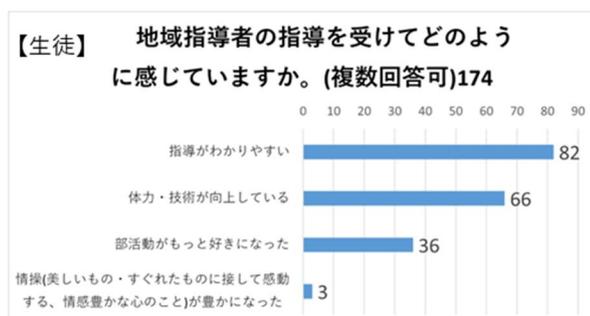
3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全9中学校のうち、1校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	11部活
③ 種目	①陸上競技(特設駅伝)、②サッカー、③バスケットボール(男)、④バスケットボール(女) ⑤バレーボール(男)、⑥バレーボール(女)、⑦ソフトテニス(男)、⑧ソフトテニス(女)、 ⑨卓球(男)、⑩卓球(女)、⑪剣道

《主な取組(1)》…佐野市立田沼東中学校

① 運営主体	特定非営利活動法人ためまアスレチッククラブ		
② 種目	バスケットボール	④ 参加者数	15人
④ 活動日	土曜日または日曜日	⑤ 活動場所	田沼東中学校体育館
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,500円/時間
⑨ 指導者属性	ためまアスレチッククラブ		
⑩ 参加会費の有無・金額	なし		

3.2 参加者の声(生徒、教職員)



3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

取組についての工夫を3点挙げます。1点目は、指導者の確保についてですが、運営団体になっている総合型地域スポーツクラブでは、全ての競技種目の指導者の確保が難しいため、運営団体からスポーツ協会に指導者の推薦の協力依頼し、確保に努めた。2点目として拠点校における実施に係るQ&Aを作成し、地域指導者による活動に際して、欠席やケガをした生徒への対処方法や地域指導者が指導の都合がつかなくなった場合への対応方法などを共有し、実践した。3点目は、顧問と指導者による活動状況に関する情報共有の方法についてである。各部において地域部活動日誌を活用し、活動内容や顧問への連絡事項について記録した。また、顧問から地域指導者へ取り組んでほしい練習内容を伝える場合にも利用した。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

競技経験や競技の専門的知識を有する地域指導者から指導を受け、8割以上の生徒が「指導がわかりやすい」、「体力や技術が向上した」と感じるなど好意的に受けとめていた。また、休日の学校部活動の指導の一部を地域指導者に任せただけで、負担感の軽減が図られたとの回答を8割の教職員から得られた。その他に、実践の開始にあたり地域指導者を対象に研修の時間を設け指導をするための留意事項を伝えたことにより適切な指導が行われたことや総合型地域スポーツクラブが運営団体となり地域移行に伴う運営事務の内容や業務量について把握ができ、全市に取組を広げる際の貴重な実践になったことが成果として挙げられる。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【受け皿団体・指導者の確保方策】

市内全校への取組の拡大を見据え、本市の実態を踏まえた実施体制を検討する協議会を設置し、運営団体や指導者の確保等について検討を進める。令和5年度からは、実践を市内の2校に拡大することとしている。

【地域特有の課題への対応策】

地域移行の取組を市内の一部の学校から徐々に拡大することとしている。この期間は、公平性の観点から受益者負担を求めないことを想定している。

○地域部活動推進事業実施における佐野市教育委員会の役割

1 地域部活動の実施に係る会議の開催

運営団体、拠点校の管理職や部活動顧問、地域指導者、教育委員会が一同に集まり、研修会を開催した。1回目は、地域部活動の趣旨や実施方法の詳細について共通理解を図った。2回目は、今年度の取組状況やアンケート結果をもとに成果や課題や今後の取組について共有した。

令和4年5月11日 第1回地域部活動推進研修会(指導者研修会を含む)

令和5年1月27日 第2回地域部活動推進研修会

(アンケート調査結果概要の共有と次年度の取組に向けた情報共有)

2 地域部活動の拠点校における実施のQ&A(改訂版)の作成の支援

拠点校での地域指導者の部活動に際して、欠席やケガをした生徒への対処方法や地域指導者が指導の都合がつかなくなった場合への対応方法などについて学校と共に検討し、それを整理したQ&A作成(改訂版)を支援した。

3 地域部活動の実施におけるアンケートの分析及び実践課題の整理

拠点校における取組を振り返るアンケート調査結果について分析を行い、推進を図るための成果や課題の把握に努めた。また、拠点校、運営団体と今後の実践における課題や取組について共有を図った。

4 スポーツ協会などの団体所管課との情報共有と連携

地域部活動を市内の全中学校へ拡大を図るため、市内のスポーツや文化・芸術の団体の所管課とモデル校における取組について情報共有を図るとともに協議を重ねた。

<担当各課による会議の日付と協議内容>

①5月25日(・推進体制の検討①・推進計画(素案)・地域移行の周知)

②7月14日(・推進体制の検討②・協議会(仮)の設置と開催時期について)

③9月15日(・市内全校への地域移行推進素案の検討)

④10月20日(・地域部活動の推進の指針(案)・準備委員会の開催)

5 リーフレットの配布による広報

休日の地域部活動の地域移行について教職員、生徒、保護者への周知を図るため、リーフレットを作成し、メールにて配信を行った。リーフレットの内容は、モデル校での実施の状況、国や県の動向などである。現在、2号までを配信済みである。

6 実践の視察の実施

栃木県教育委員会の担当者や佐野市教育委員会教育長、教育委員、市教育委員会の担当者による活動状況の視察を実施するとともに教職員、地域指導者、生徒への聞き取りを行った。

7 部活動の地域移行に係る意見交換会の開催

佐野市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、佐野市文化協会の各代表者、教育部長及び関係課の担当者が集まり、モデル校における取組の共有を図るとともに、学校部活動から地域クラブ活動への移行についての意見交換会を行った。

「中学校部活動」から 「地域クラブ活動」へ

学校単位の部活動から地域で行うスポーツ・文化活動に変わっていきます

令和5年1月 佐野市教育委員会

本市中学校部活動の現状

少子化による休部・廃部 活動の縮小	顧問にかかる負担の増大	運動部活動加入率の低下
佐野市立中学校生徒数 令和4年 2,673名 令和16年 1,800名程度(推計)	佐野市立中学校における運動部顧問 の超過勤務時間平均 82時間20分(令和4年4月) ※規定では45時間以内	運動部活動加入率 平成25年度 80.0% 令和4年度 75.2%
生徒数は減少=教職員の減少	深刻な長時間労働	放課後の過ごし方の多様化



中学校部活動存続の限界！

学校だけでスポーツ活動・文化活動を継続していくことが困難に・・・

本市も令和5年度から 中学校部活動の地域移行を進めます

改革推進期間:令和5年度～令和7年度の3年間
(地域スポーツ・文化芸術環境整備のための取組を重点的に行う期間)

スポーツ庁・文化庁は「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を令和4年12月に策定し、令和5年度から令和7年度までの3年間で改革推進期間注)としています。このガイドラインには、休日の学校部活動を地域連携や地域クラブ活動への移行を段階的に進めていくよう国の考えが示されています。

本市では令和3年度～令和4年度の2年間、佐野市立田沼東中学校が国と県から指定を受けて「地域部活動推進事業」の実践モデル校として研究に取り組んでいます。(取組内容の一部を裏面で紹介)

令和5年度からは、佐野市立田沼東中学校の成果と課題を検証し、市内公立中学校・義務教育学校(後期課程)に少しずつ拡充させていく計画です。

注) 3年間の改革推進期間で全ての地域移行を終了させるということではありません。

先行実践モデル校（令和3～4年度） 田沼東中学校の活動状況

活動回数

土・日・祝日の活動のうち、月2回を地域指導者により指導（20回／年）

★平日の部活動、地域指導者が指導を行わない土・日・祝日の部活動はこれまでどおり顧問教職員が指導しています。

地域部活動実践種目

陸上競技、サッカー部、バレーボール(男女)、バスケットボール(男女)、ソフトテニス(男女)
卓球(男女)、剣道、吹奏楽

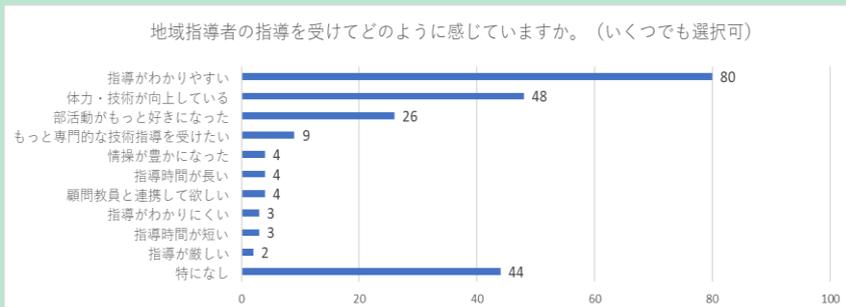
★休日に活動している全ての部活動を対象としています

地域指導者は？

「地域部活動推進事業」を運営する総合型地域スポーツクラブ「ためまアスレチッククラブ」の指導員等が地域指導者として指導にあたっています。

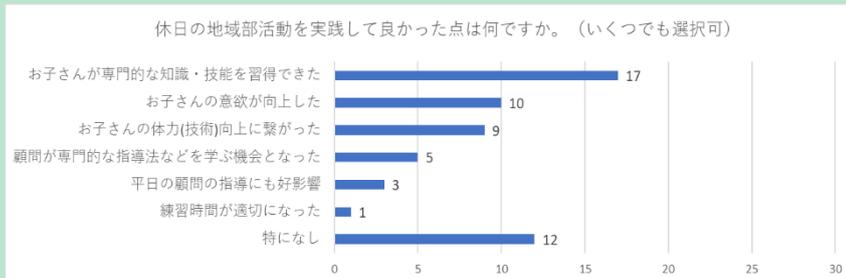
★国・県指定のモデル事業のため、現在のところ保護者の費用負担はありません。

地域部活動 実践後の意見は・・・（R3 実施後のアンケート結果より） 生徒



地域指導者からパスの基本を教えてもらいます

保護者



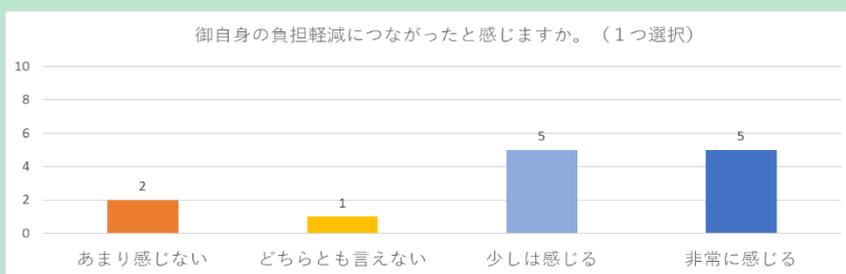
成果

- ・顧問と地域指導者の連携により活動が円滑に行われた
- ・生徒が地域指導者の指導について好意的に捉えていた
- ・顧問の負担軽減を図ることにつながった
- ・地域部活動の実施体制のモデルの構築が進められた

課題

- ・安全管理
- ・施設・設備の管理
- ・個人情報の管理
- ・顧問と地域指導者の連携

教職員



成果と課題を検討し、今後、市内の中学校・義務教育学校に拡充していきます。

中学生が、興味関心に合ったスポーツ・文化活動に親しめるよう支援します！

「中学校部活動」から

No.2

「地域クラブ活動」へ

令和5年2月 佐野市教育委員会

令和5年度はスポーツ庁・文化庁が示した中学校部活動の地域移行に向けた「改革推進期間」の1年目です。そこで佐野市では、令和5年4月から「部活動地域移行推進事業」として、休日の中学校部活動を地域でスポーツ・文化活動を行う「地域クラブ活動」へ段階的に移行する取組をスタートさせます。

令和5年度（改革推進期間1年目）の2つの取組

- 1 田沼東中学校・あそ野学園義務教育学校での先行実施
- 2 「（仮称）部活動地域移行推進協議会」の設置

1 田沼東中学校及びあそ野学園義務教育学校での先行実施について

令和3・4年度の2年間、田沼東中学校は文部科学省及び栃木県・佐野市教育委員会の指定を受けて「地域部活動推進事業」の拠点校として実践研究を行いました。

2年間の実践研究の成果を踏まえ、令和5年度は、あそ野学園義務教育学校（後期課程）を加えた2校で、休日の部活動の地域移行を進めます。

(1) 実施方法

同じ種目の部活動に所属する2校の生徒が、同じ活動場所（各中学校や市内スポーツ施設等）で、地域指導者※1の下、「地域クラブ活動※2」として一緒に活動します。

○「地域クラブ活動」は、学校の教育課程外の活動として、社会教育法上の「社会教育」の一環として実施します。

○生徒は、平日に中学校で参加している部活動と同じ種目の部活動に参加します。

○令和5年度の中学校体育連盟主催大会への参加はこれまでどおり、学校単位での参加となります。他の大会や練習試合等については、「地域クラブ活動」単位で参加する場合があります。

※1 地域指導者は、「地域クラブ活動」を管理・運営する総合型地域スポーツクラブ等の指導員の皆さんです。

※2 「地域クラブ活動」は、令和3・4年度に田沼東中学校で実践研究に取り組んだ「地域部活動」と同じ活動です。



(2) 活動日及び活動時間

活動日は令和5年5月から令和6年2月までの休日（土・日・祝日のいずれか）に20回を予定しています。概ね月2回の活動となり、他の休日は従来どおり、教員の指導による学校部活動となります。

例：活動日のイメージ（ある月の活動カレンダー）

**中学校部活動
（学校教育）**

- ☆平日及び地域クラブ活動を実施しない休日
- ☆1回あたり平日2時間、休日3時間程度の活動
- ※平日の活動時間は季節により異なります。

月	火	水	木	金	土	日
			1 学校	2 学校	3 地域	4
5 学校	6 学校	7	8 学校	9 学校	10 学校	11
12 学校	13 学校	14	15 学校	16 学校	17 地域	18
19 学校	20 学校	21	22 学校	23 学校	24 学校	25
26 学校	27 学校	28	29 学校	30 学校		

**中学校部活動
の休養日**

- ☆週2日以上
平日1日以上、
週末1日以上

**地域クラブ活動
（社会教育）**

- ☆各月、休日(土・日・祝日)の2回程度
- ☆実施日については活動施設の状況や地域指導者の予定等により調整
- ☆1回あたり3時間程度の活動

(3) 活動場所

- 活動場所は各中学校又は市内各スポーツ施設等とし、原則として年間を通して同じ場所で活動します。
- 具体的な活動場所は、各校部活動の部員数が確定した後に調整します。
- 活動場所への移動は、各自とします。(現地集合・現地解散)

(4) 傷害保険への加入について

「地域クラブ活動」は社会教育の一環として実施されることから、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の対象とはなりません。そのため、参加生徒は活動中のケガ等に備え、新たな傷害保険に加入します。

(5) 参加費用について

令和5年度は先行実施のため、地域指導者への謝金や地域指導者及び生徒の傷害保険加入費を佐野市が負担し、保護者の負担はありません。

2 「(仮称)部活動地域移行推進協議会」の設置について

令和5年度は2校で先行実施が始まりますが、佐野市立中学校・義務教育学校(後期課程)で実施していくためには、「地域クラブ活動」の運営団体・実施主体の整備充実が必要です。

そこで、学識経験者、各種スポーツ及び文化団体、PTA、学校等の代表の方々をメンバーとした「(仮称)部活動地域移行推進協議会」を設置し、実施に向け準備を進めます。

本協議会での検討結果を踏まえ、佐野市立中学校・義務教育学校(後期課程)での実施を見据えた「中学校部活動の地域移行に関する実施計画《佐野モデル》」を策定します。

佐野市地域運動部活動アンケート結果1 【生徒】

⑤ 部活動に所属している目的(1つ選択)	
友達と楽しく活動	38
特になし	22
大会・コンクール等で良い成績を収める	31
大会・コンクール等での成績にはこだわらず、主に活動自体を楽しむ	22
体力・技術の向上	40
チームワーク・協調性・共感を味わう	18
その他(自由記述)(卓球が小さい頃から好きで、もっと卓球を知りたいと思ったから)	1
総計	172

⑥ 部活動を行って良いと思う点	
友達と楽しく活動できている	61
体力・技術が向上している	37
チームワーク・協調性・共感を味わうことができた	27
仲間が増えた	19
大会・コンクール等で良い成績を収めることができた	10
集中力が高まった	4
自分に自信が持てるようになった	1
特になし	13
総計	172

⑦ 部活動の活動頻度について、希望するものを選択してください。(1つ選択)	
週に6回以上	26
週に5回	77
週に3・4回	51
週に2回	11
週に1回	2
月に1回	6
2週間に1回	1
総計	174

⑧ 部活動を行う上での悩みはありますか。(いくつでも選択可)	
悩みはない	87
部活動の時間が短い	35
部活動日数が少ない	19
部活動の時間が長い	18
部活動の日数が多い	17
部活動の日数が多い	17
学業との両立	9
家族の期待	7
怪我で活動できない	6
指導が厳しい	5
家族の理解	5
実技指導をして欲しい	4
休日がない	4
総計	233
⑨ 日頃、顧問の指導を受けてどのように感じていますか。(いくつでも選択可)	
指導がわかりやすい	73
体力・技術が向上している	68
部活動がもっと好きになった	50
もっと専門的な技術指導を受けたい	18
指導が厳しい	11
指導がわかりにくい	6
指導時間が短い	6
指導時間が長い	3
特になし	51
その他	4
総計	290
⑩ 学校で行う活動と、地域で行う活動に違いはありましたか。(1つ選択)	
違いはない	21
少し違う	66
ほぼ違う	25
全く違う	12
(空白)	50
総計	174

⑪ 休日の地域部活動に参加して困ったことや悩みはありますか。(いくつでも選択可)	
悩みはない	89
部活動の時間が長い	13
指導が厳しい	8
部活動の時間が短い	8
部活動日数が少ない	7
学業との両立	4
家族の期待	3
休日がない	3
指導者間の意見の相違	2
実技指導をして欲しい	2
他の生徒との関係	2
指導者が意見を聞いてくれない	1
その他	2
総計	144
⑫ 地域指導者の指導を受けてどのように感じていますか。(複数回答可)	
指導がわかりやすい	82
体力・技術が向上している	66
部活動がもっと好きになった	36
情操(美しいもの・すぐれたものに接して感動する、情感豊かな心のこと)が豊かになった	3
顧問教員と連携して欲しい	15
もっと専門的な技術指導を受けたい	9
指導時間が長い	5
指導がわかりにくい	4
指導が厳しい	4
指導時間が短い	2
特になし	15
その他	4
総計	245
⑬ 次年度も休日の地域部活動に参加したいと思うか。(1つ選択)	
とてもそう思う	66
まあそう思う	37
あまりそう思わない	13
全くそう思わない	7
(空白)	51
総計	174

⑭ 地域部活動を平日に行うことは賛成か。(1つ選択)	
とても賛成	41
どちらかという賛成	43
どちらかという反対	29
全く反対	10
(空白)	51
総計	174
⑮ 休日の地域部活動に参加するために月謝を支払うことになったらどう思うか。(1つ選択)	
参加したい	32
どちらとも言えない	76
参加したくない	66
総計	174
⑯ 地域部活動において、小学生や高校生、高齢者等の多世代と活動することは賛成ですか。(1つ選択)	
賛成	80
反対	25
どちらともいえない	69
総計	174
⑰ 部活動が参加する大会等に地域のクラブが参加することになったらどう思いますか。(1つ選択)	
賛成	59
反対	30
どちらともいえない	85
総計	174

佐野市地域運動部活動アンケート結果2【教職員】

⑨ 部活動は将来、どうあるべきと考えますか。	
地域で行うべき	12
平日は学校、休日は地域で行うべき	3
学校教育の一環として学校で行うべき	1
その他	2
総計	18
⑩ 休日の地域部活動を実践して良かった点は何ですか。(複数選択可)	
自身が休めるようになった	15
生徒が専門的な知識・技能を習得できた	11
顧問が専門的な指導法などを学ぶ機会となった	8
生徒の意欲が向上した	5
平日の顧問の指導に好影響があった	1
生徒の平日の活動にも好影響があった	3
特になし	1
生徒と顧問の関係が好転した	0
生徒の練習への参加(出席)率が向上	0
練習時間が適切になった	0
他の職員にも影響があった(具体的に記述)	0
その他	0
総計	44
⑪ 休日の地域部活動を実践して課題は何ですか。(複数選択可)	
施設・設備の管理	10
顧問教員と地域指導者の連携	8
指導の際の教育的配慮	7
安全管理	6
個人情報の管理の徹底	5
生徒同士の人間関係	5
指導者間の指導方針の相違	3
特になし	2
総計	46

⑫ 御自身の負担軽減に繋がったと感じますか。	
非常に感じる	8
少しは感じる	7
全く感じない	1
(空白)	2
総計	18
⑬ 教材研究や生徒指導等に充てる時間は増えたと感じますか。	
非常に感じる	2
少しは感じる	7
あまり感じない	2
全く感じない	2
どちらとも言えない	3
(空白)	2
総計	18
⑭ 休日の地域部活動の指導に当たり、地域指導者との連携は十分に図られていますか。	
十分に図られている	10
まあ図られている	5
あまり図られていない	1
(空白)	2
総計	18
⑮ 休日の指導に当たり、地域指導者との連絡方法について該当するものは何ですか。(複数選択可)	
電話	11
SNS(ライン等のアプリ)	10
直接対面	6
メール(携帯・パソコン)	6
(空白)	2
総計	35
⑯ 休日の指導に当たり、地域指導者との連携について該当するものは何ですか。(複数選択可)	
生徒の健康状態やコンディションについて情報交換している	12
地域指導者と相談しながら年間・月間の計画を立てている	9
顧問教員と日頃から積極的に意思の疎通を図り、個に応じた指導が実現できている	5
校内の他の部とも活動の共有を図っている	1
総計	27

⑳ 休日の地域部活動の指導に当たり、指導者が特に重視するべきと思う点は何ですか。(複数選択可)	
生徒一人ひとりの技能レベルにあった指導	13
生徒一人ひとりの心身の発達段階に応じた指導	11
生徒の自主性・主体性の尊重と育成	10
練習内容の精選・工夫	9
チームワーク・協調性・共感	8
多くの生徒が楽しめる指導の工夫	7
大会・コンクール等での好成績	4
総計	62
㉑ 休日の部活動が地域へ移行した場合、心配なことは何ですか。(複数選択可)	
安全管理	11
顧問と指導者の連携不足	10
個人情報管理	9
施設・設備管理	9
学校の方針が守られない	6
保険対応の難しさ	5
行き過ぎた指導	4
保護者の経済的負担が増える	3
顧問の意欲低下	2
生徒の活動時間が長くなる	1
生徒の活動日数が増える	1
特になし	2
総計	63
㉒ 休日の部活動が地域に移行した際に指導に携わりたいですか。	
ボランティア(謝金なし)で携わりたい	2
手当をもらって携わりたい	2
携わりたくない	14
総計	18
㉓ 休日の部活動が地域へ移行した場合、保護者が負担する額(月額)はどの程度が妥当ですか。	
5,000円以上	3
2,000円～3,000円未満	6
1,000円～2,000円未満	3
1,000円未満	3
負担なし	3
総計	18

佐野市地域運動部活動アンケート結果3【地域指導者】

④ 保有するスポーツまたは文化芸術に関する指導者資格について、選択してください。(複数選択可)	
日本スポーツ協会公認の資格(競技に関するもの、それ以外も全て含む)	2
その他の資格(具体的に)(剣道教士七段)	1
資格なし	3
総計	6
⑤ 怪我や事故が起きた場合の対応(心肺蘇生法等)について何から知識を得ていますか。(複数選択可)	
インターネットサイト	1
インターネットサイト/その他	1
研修会等	2
研修会等/参考書籍やビデオ	2
総計	6
⑦ 部活動は将来、どうあるべきと考えますか。	
学校教育の一環として学校で行うべき	1
平日は学校、休日は地域で行うべき	4
その他(自由記述)(本人が自主的にやりたいものをやった方がいいと思う。)	1
総計	6
⑧ 休日の地域部活動を実践して、良かったと感じることは何ですか。(複数選択可)	
生徒の技術向上が見られた	5
生徒の意欲向上が見られた	4
体力の向上が見られた	3
顧問に感謝される	4
保護者や生徒に感謝される	2
大会やコンクールで良い結果が収められた	1
特になし	0
その他	1
総計	20
⑨ 休日の地域部活動を実践して、感じた課題は何ですか。(複数選択可)	
生徒同士の人間関係	4
指導日数が少なくなった	3
顧問教員と地域指導者の連携	3
指導時間が短くなった	2
指導の際の教育的配慮	2
安全管理	2
特になし	2
総計	18

⑩ 休日の地域部活動の指導に当たり、特に重視している点は何ですか。(複数選択可)	
練習内容の精選・工夫	5
生徒一人ひとりの心身の発達段階に応じた指導	4
生徒の自主性・主体性の尊重と育成	4
生徒一人ひとりの技能レベルにあった指導	3
チームワーク・協調性・共感	3
多くの生徒が楽しめる指導の工夫	2
大会・コンクール等での好成績	2
その他	2
総計	25
⑪ 休日の地域部活動の指導に当たり、顧問等との連携は十分に図られていますか。	
十分に図られている	4
まあ図られている	2
総計	6
⑫ 休日の地域部活動の指導に当たり、顧問教員との連絡方法は何ですか。(複数選択可)	
SNS(ライン等のアプリ)	4
電話	4
直接対面	3
メール(携帯・パソコン)	1
その他(自由記述)	1
総計	13
13 休日の指導に当たり、顧問教員との連携について該当するものは何ですか。(複数選択可)	
生徒の健康状態やコンディションについての情報交換	5
顧問教員と相談しながら年間・月間の計画を立てている	4
顧問教員と日頃から積極的に意思の疎通を図り個に応じた指導が実現できている	2
その他(自由記述)(顧問と情報共有をしながら、月2回のメニューを組み立てています。)	1
総計	12
⑬A 技術力の向上を重視し、大会・コンクールでの好成績を目指すべき。	
非常にそう思う	1
まあそう思う	4
あまりそう思わない	1
総計	6

⑮B 生涯スポーツのための運動習慣の形成に向けて楽しく活動するべき。	
非常にそう思う	4
まあそう思う	2
総計	6
⑮C 学校卒業後にも取り組める生涯学習の一環として楽しく活動するべき。	
非常にそう思う	4
まあそう思う	2
総計	6
⑮D 生徒のニーズに合わせた多様な活動ができるようにするべき。	
非常にそう思う	1
まあそう思う	5
総計	6
⑯ 休日の部活動が地域へ移行した場合保護者が負担する額(月額)はどの程度が妥当ですか。	
2,000円～3,000円未満	1
3,000円～4,000円未満	1
4,000円～5,000円未満	1
5,000円以上	1
負担なし	2
総計	6

佐野市地域運動部活動アンケート結果4【保護者】

⑤ あなたがお子さんの部活動に、特に期待することは何ですか。(複数選択可)	
チームワーク・協調性・共感を味わうこと	44
友達と楽しく活動	40
体力・技術の向上	37
自信をつける	28
社会性を身につける	27
大会・コンクール等での成績にはこだわらず、主に活動自体を楽しむ	21
大会・コンクール等での好成績	17
運動習慣の形成	11
放課後の居場所	3
特になし	2
総計	230
⑥ お子さんが部活動を行って、あなたが良いと思うところは何ですか。(複数選択可)	
仲間が増えた	36
体力・技術が向上している	32
チームワーク・協調性・共感を味わえている	32
自信がついた	18
集中力が高まった	9
社会性が身についた	9
大会・コンクール等での好成績を収められた	6
その他	3
特になし	1
総計	146
⑦ お子さんは部活動に対して、どのような悩みがあるとあなたは思いますか。(複数選択可)	
悩みはないと思う	22
部活動の時間が短い	17
学業との両立	11
部活動日数が少ない	10
実技指導をして欲しい	8
その他(自由記述)	5
他の生徒との関係	4
部活動日数が多い	2
休日がない	2
部活動の時間が長い	1
顧問教員が意見を聞いてくれない	1
怪我で活動ができない	1
総計	84

⑧ 部活動は将来、どうあるべきと考えますか。	
平日は学校、休日は地域で行うべき	23
学校教育の一環として学校で行うべき	23
地域で行うべき	1
その他	12
総計	59
⑩A 技術力の向上を重視し、大会・コンクールでの好成績を目指すべき。	
非常にそう思う	8
まあそう思う	37
あまりそう思わない	11
全くそう思わない	3
総計	59
⑩B 生涯スポーツのための運動習慣の形成に向けて楽しく活動するべき。	
非常にそう思う	23
まあそう思う	31
あまりそう思わない	2
全くそう思わない	3
総計	59
⑩C 学校卒業後にも取り組める生涯学習の一環として楽しく活動するべき。	
非常にそう思う	17
まあそう思う	30
あまりそう思わない	9
全くそう思わない	3
総計	59
⑩D 生徒のニーズに合わせた多様な活動ができるようにするべき。	
非常にそう思う	17
まあそう思う	33
あまりそう思わない	7
全くそう思わない	2
総計	59
⑫ 休日の地域部活動を実践して良かった点は何ですか。(複数選択可)	
お子さんが専門的な知識・技能を習得できた	23
お子さんの意欲が向上した	14
お子さんの体力(技術)向上に繋がった	13
顧問が専門的な指導法などを学ぶ機会となった	9
平日の顧問の指導にも好影響	4
お子さんの平日の活動にも好影響	3
お子さんと顧問の関係も好転	3
練習時間が適切になった	2
お子さんの練習への参加(出席)率が向上した	2
特になし	14
その他	2
総計	89

⑬ 休日の地域部活動を実践して感じた課題は何ですか。(複数選択可)	
顧問と指導者の連携	11
指導者間の指導方針の相違	7
指導の際の教育的配慮	5
安全管理	5
指導時間・日数が短くなった	2
個人情報の管理の徹底	2
生徒同士の人間関係	1
施設・設備の管理	1
顧問の意欲低下	1
その他(自由記述)	1
特になし	24
総計	60
⑭ 地域指導者の指導についてどのように感じていますか。(複数選択可)	
適切な指導が行われている	22
もっと専門的な指導をして欲しい	8
指導時間・日数が短い	5
顧問教員との連携不足	4
技術が向上しない	4
顧問教員との指導方針の相違がある	3
指導方針が示されない	2
指導が行き過ぎている	2
特になし	7
(空白)	13
その他	3
総計	73
⑮ 次年度も休日の部活動は地域部活動として実施して欲しいですか。(1つ選択)	
非常にそう思う	15
まあそう思う	20
あまりそう思わない	5
全くそう思わない	6
(空白)	13
総計	59
⑯A 技術力の向上を重視し、大会・コンクールでの好成績を目指すべき。	
非常にそう思う	8
まあそう思う	35
あまりそう思わない	14
全くそう思わない	2
総計	59
⑯B 生涯スポーツのための運動習慣の形成に向けて楽しく活動するべき。2	
非常にそう思う	19
まあそう思う	34
あまりそう思わない	3
全くそう思わない	3
総計	59

⑩C 学校卒業後にも取り組める生涯学習の一環として楽しく活動するべき。	
非常にそう思う	18
まあそう思う	28
あまりそう思わない	10
全くそう思わない	3
総計	59
⑩D 生徒のニーズに合わせた多様な活動ができるようにするべき。	
非常にそう思う	13
まあそう思う	37
あまりそう思わない	6
全くそう思わない	3
総計	59
⑪ 地域部活動に参加する際に保護者負担があっても参加させたいですか。	
とても参加させたい	4
参加させたい	20
どちらとも言えない	26
参加させたくない	3
全く参加させたくない	6
総計	59
⑫ 休日部活動が地域移行する場合、保護者の負担額(月額)はどの程度が妥当と考えますか。	
4,000円～5,000円未満	6
3,000円～4,000円未満	7
2,000円～3,000円未満	12
1,000円～2,000円未満	8
1,000円未満	6
負担なし	20
総計	59
⑬ 部活動が参加する大会等に地域のクラブが参加することになったらどう思いますか。	
賛成	17
反対	16
どちらともいえない	26
総計	59
⑭ 地域部活動において、お子さんが小学生や高校生、高齢者等の多世代と活動することは賛成ですか。	
賛成	38
反対	6
どちらともいえない	15
総計	59

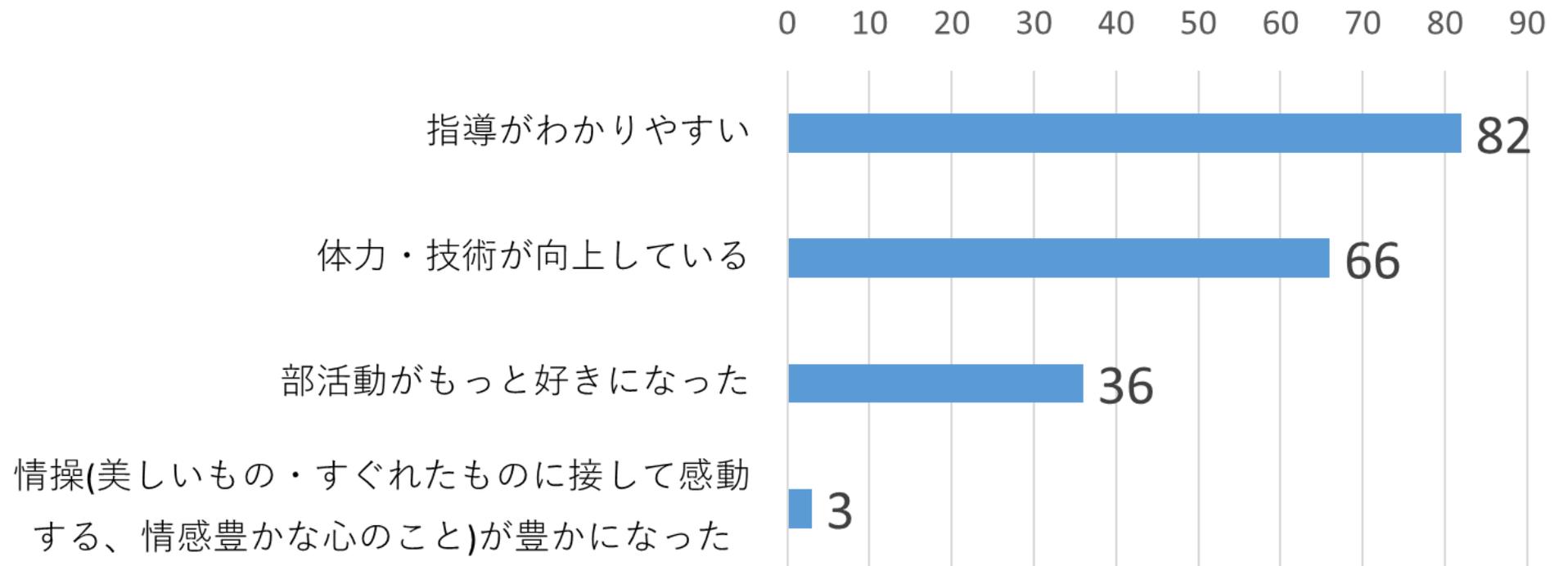
令和4年度
佐野市立田沼東中学校における
地域部活動の取組について

令和4年度のアンケート結果より

地域指導者の指導による良かった点

<生徒>

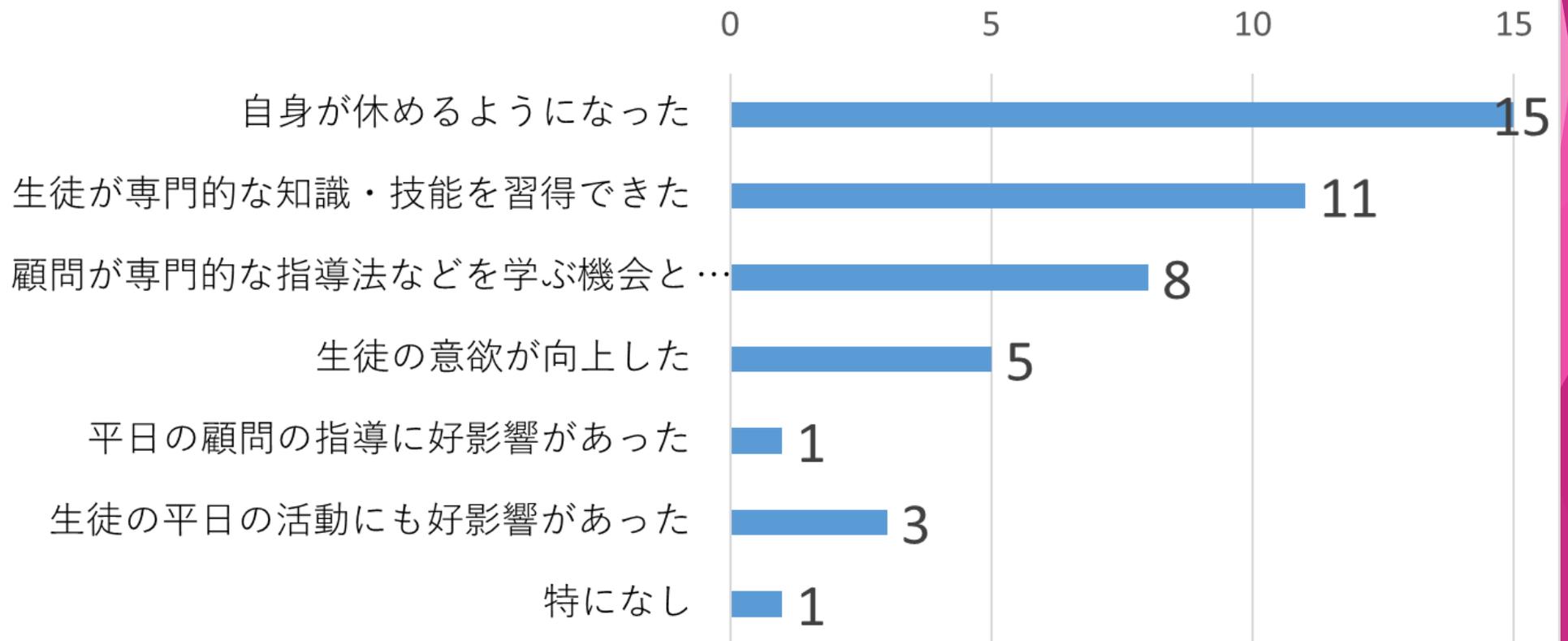
12 地域指導者の指導を受けてどのよう に感じていますか。(複数回答可)174



地域指導者の指導による良かった点

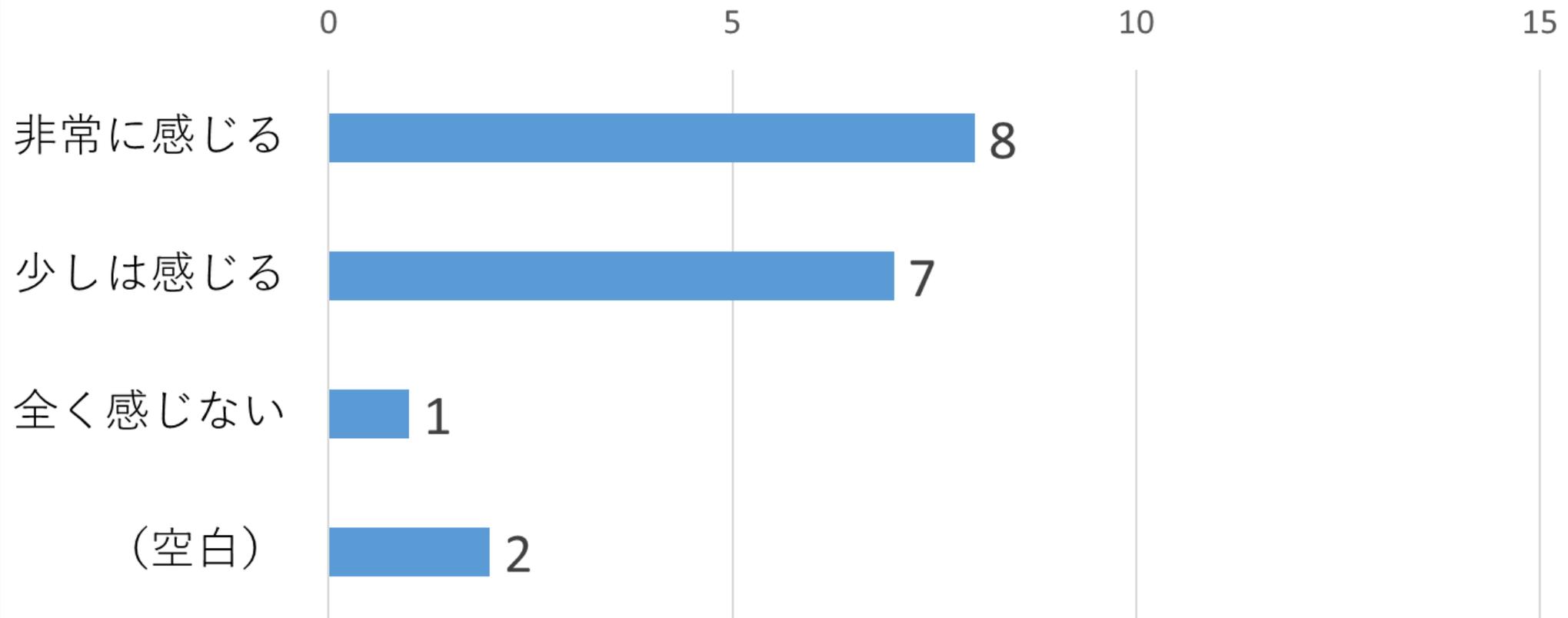
＜教職員＞

10 休日の地域部活動を実践して良かった点は何ですか。(複数選択可)16



負担の軽減につながったか。 <教職員>

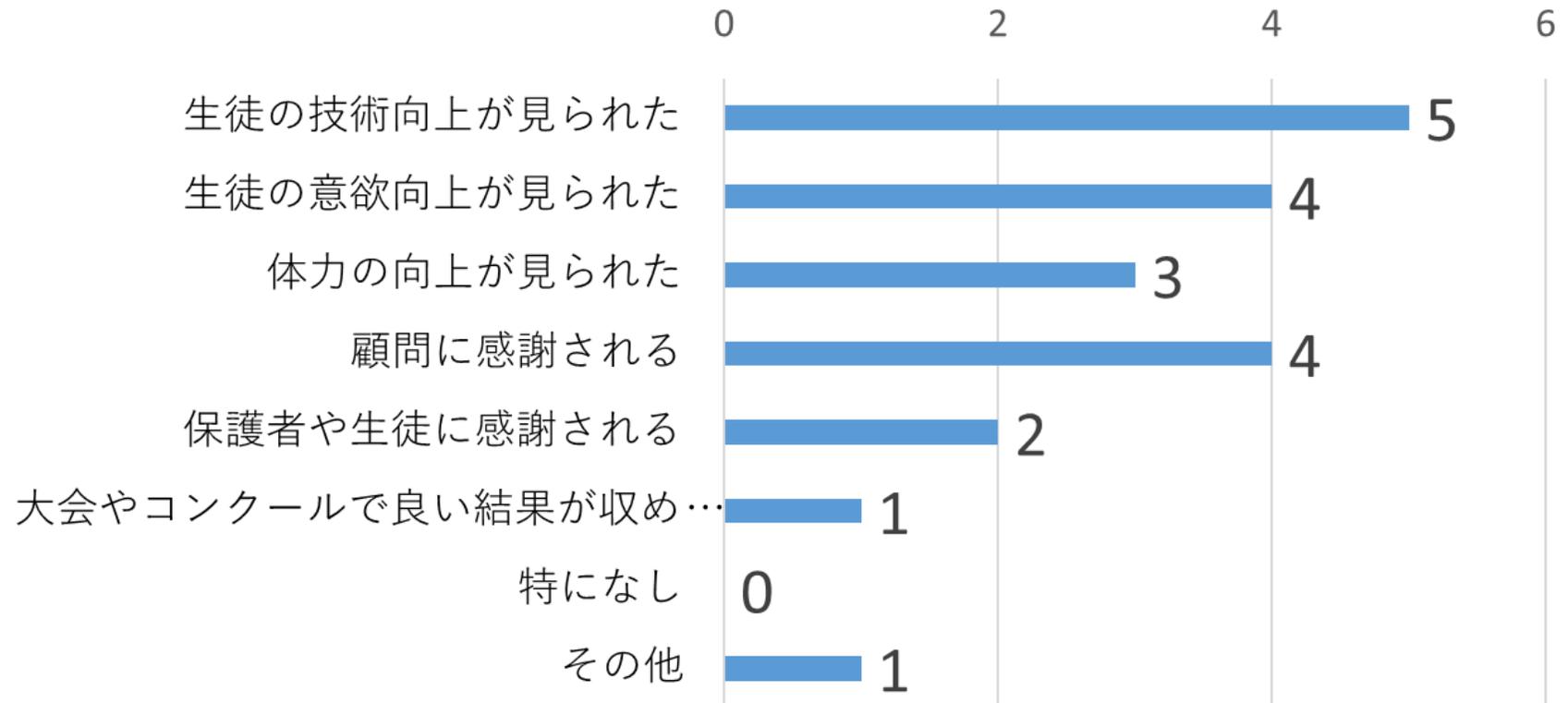
12 御自身の負担軽減に繋がったと感じますか。



地域指導者の指導による良かった点

＜地域指導者＞

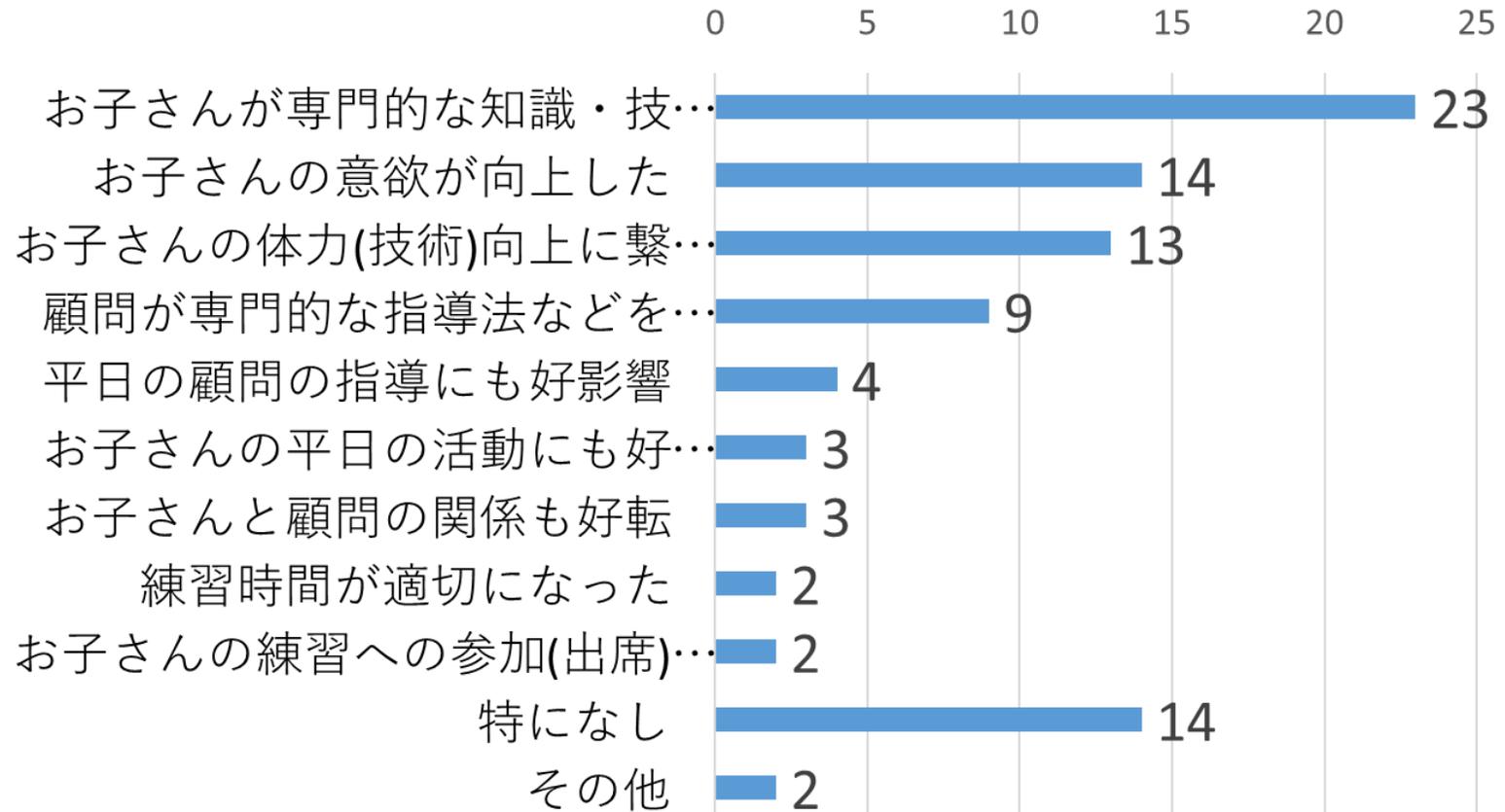
8 休日の地域部活動を実践して、
良かったと感じること(複数選択可)⁶



地域指導者の指導による良かった点

<保護者>

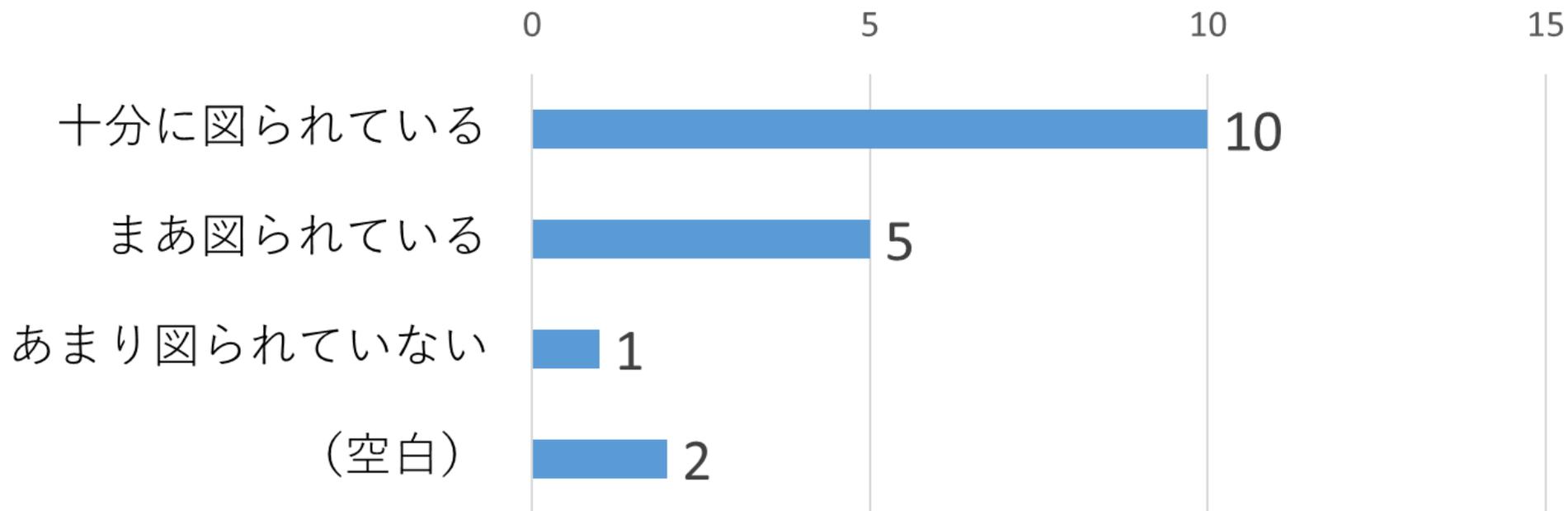
12 休日の地域部活動を実践して良かった点は何ですか。(複数選択可)59



顧問と地域指導者の連携

＜教職員＞

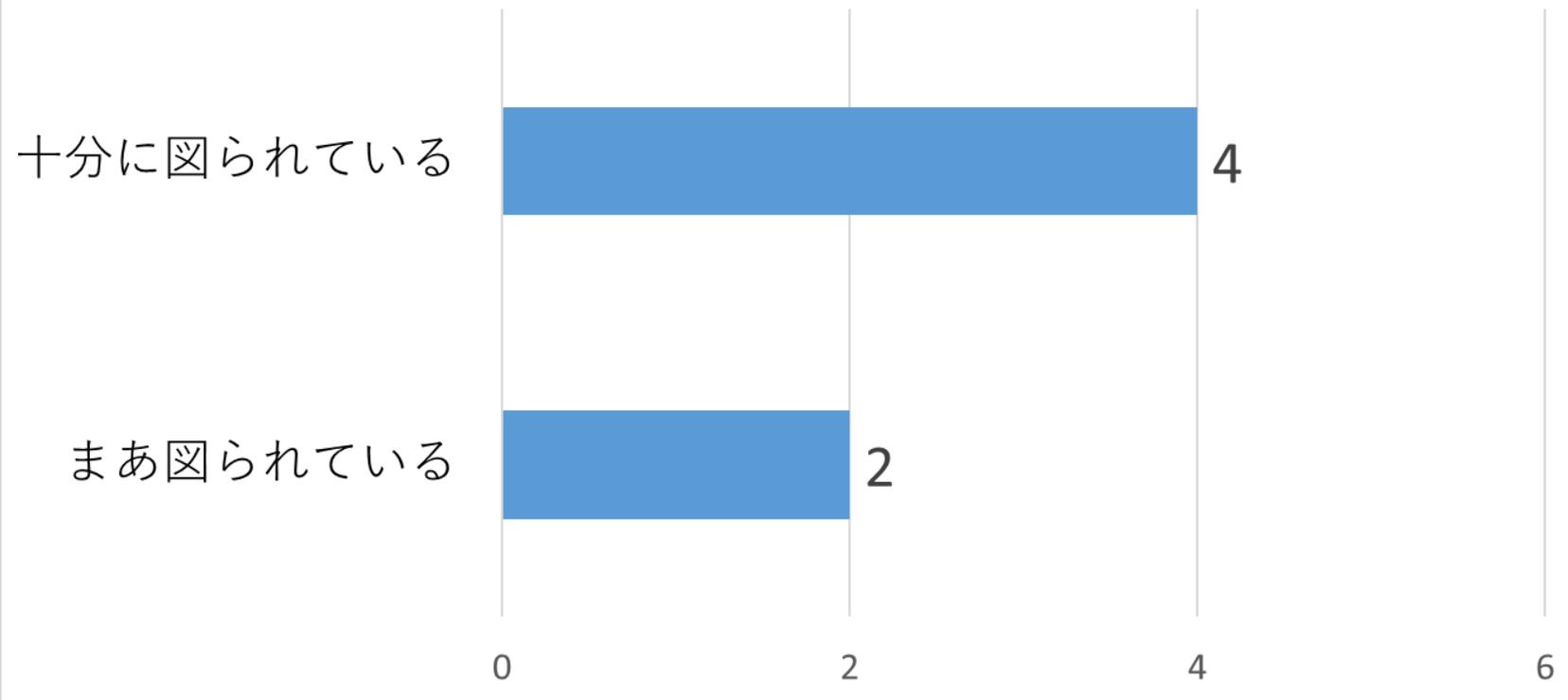
14 地域指導者との連携は十分に 図られていますか。



顧問と地域指導者の連携

<地域指導者>

11 顧問等との連携は十分に図られていますか。

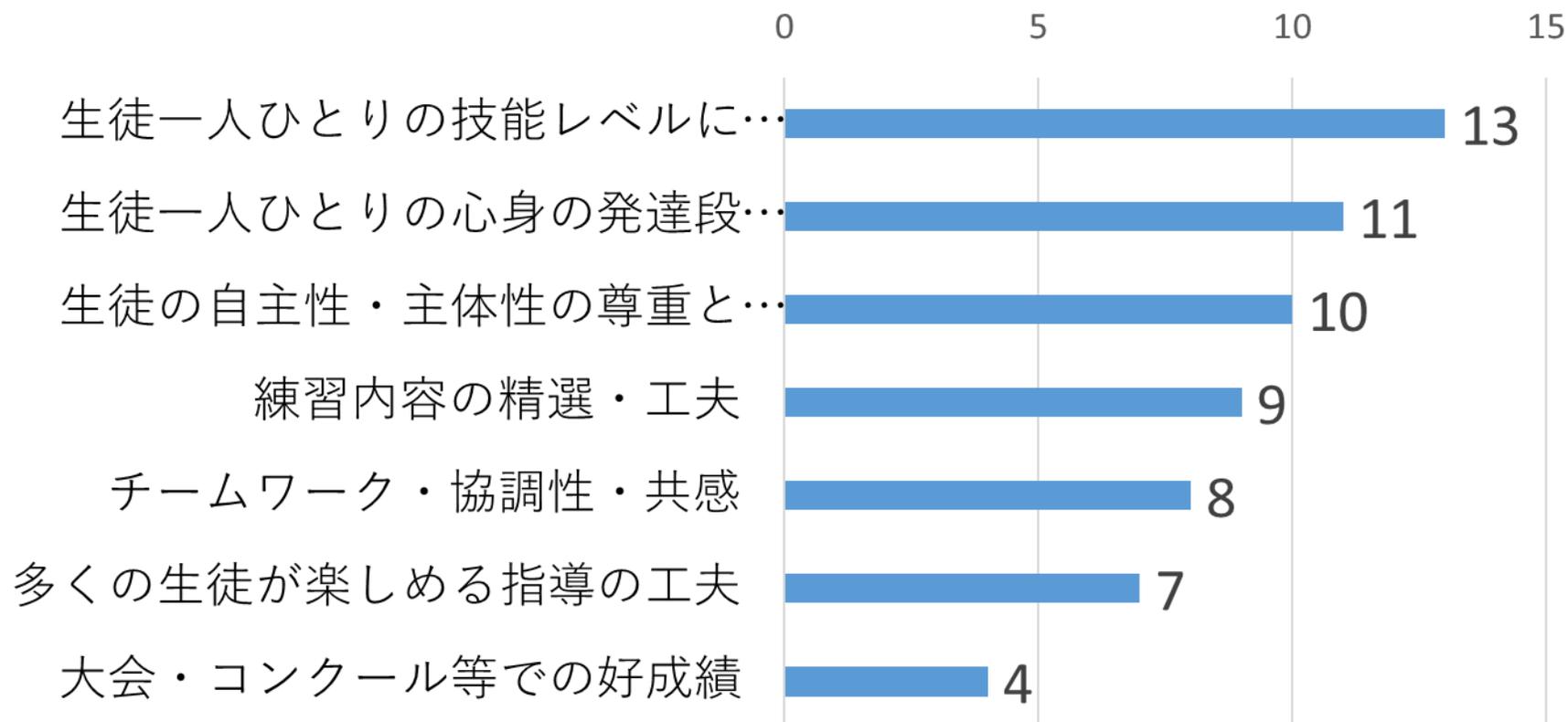


今後の課題点（重視している点）

<教職員>

20 休日の地域部活動の指導に当たり、指導者が特に重視するべきと思う点は何ですか。

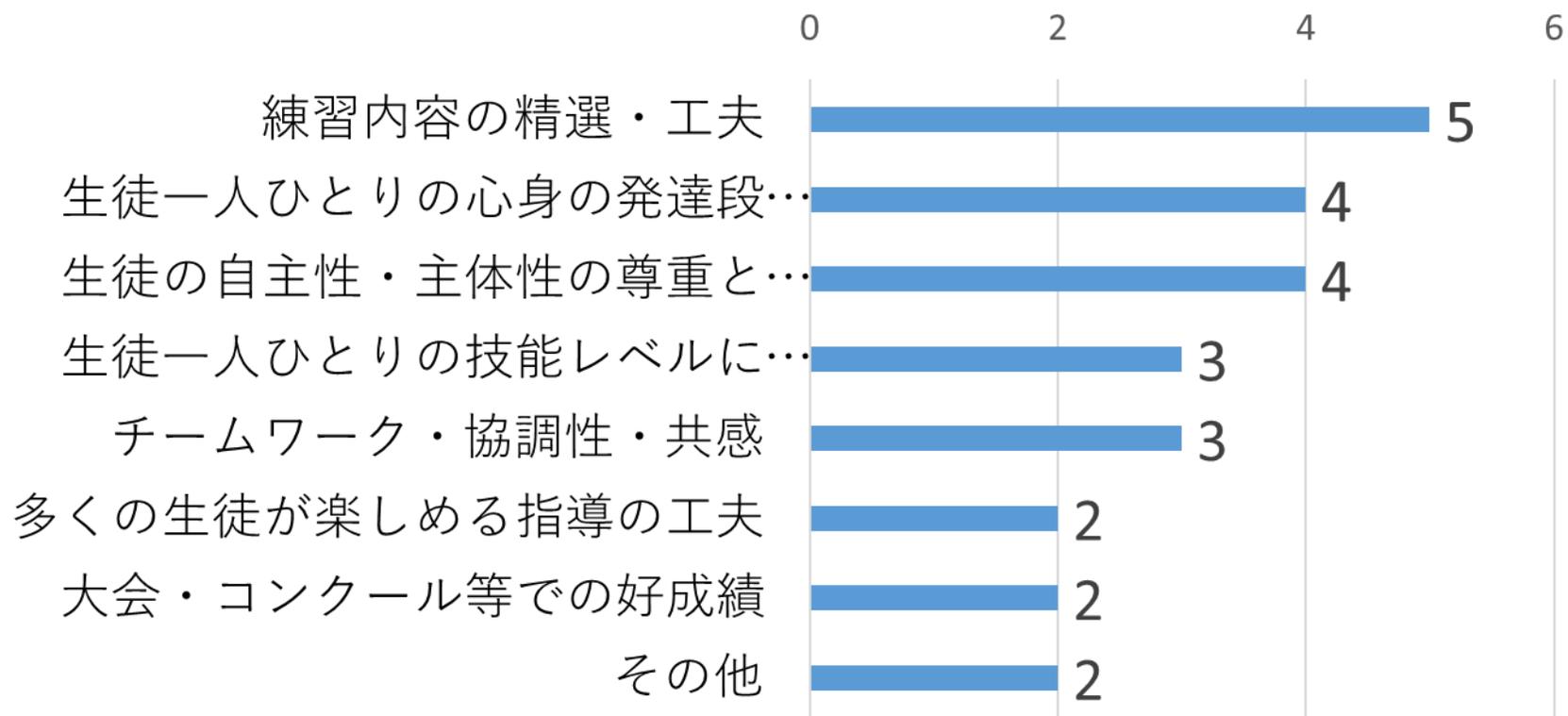
(複数選択可)



今後の課題点（重視している点）

<地域指導者>

10 休日の地域部活動の指導に当たり、特に重視している点は何ですか。(複数選択可)



★重視している点の共通点

<地域指導者>

○練習内容の精選・工夫

○心身の発達段階に応じた指導

○生徒の自主性・主体性の尊重と育成

<教職員>

○技能レベルにあった指導

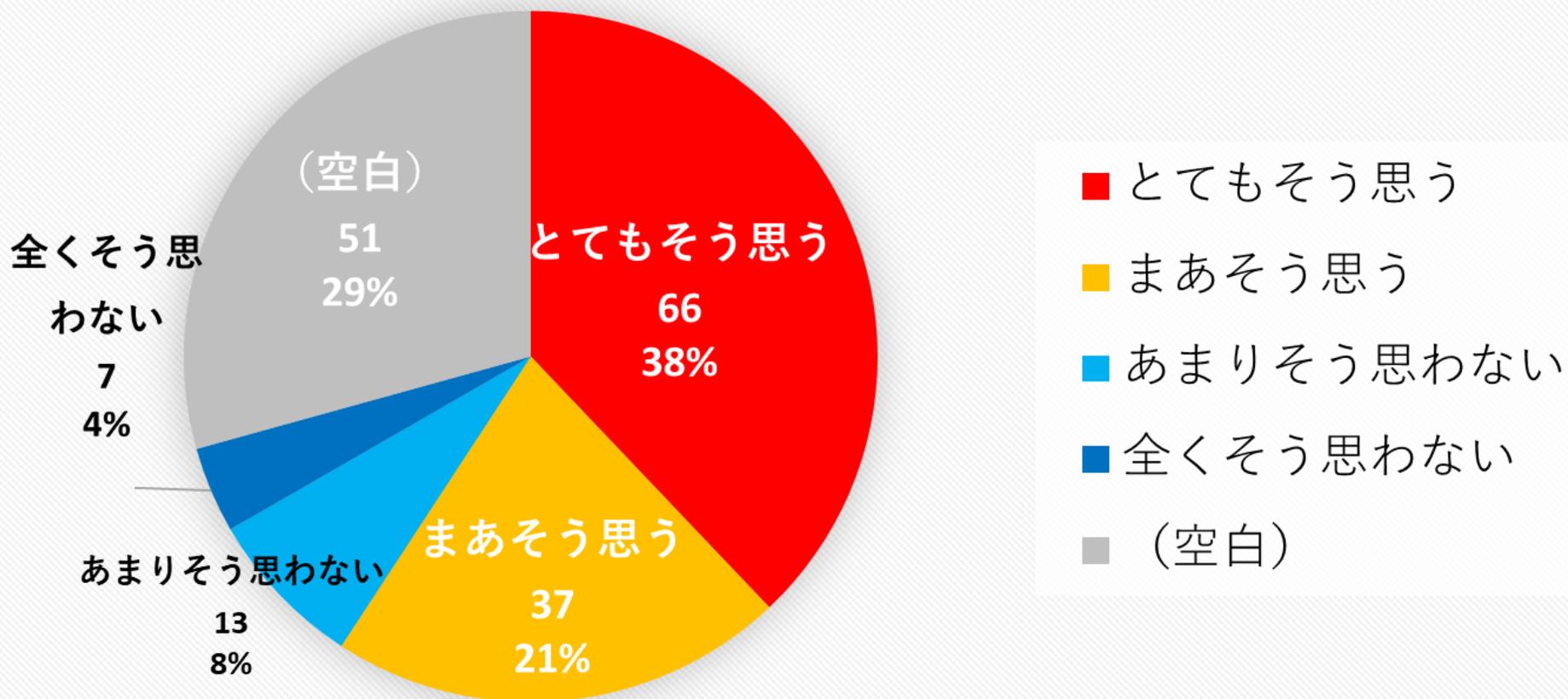
○心身の発達段階に応じた指導

○生徒の自主性・主体性の尊重と育成

次年度の活動への参加希望

<生徒>

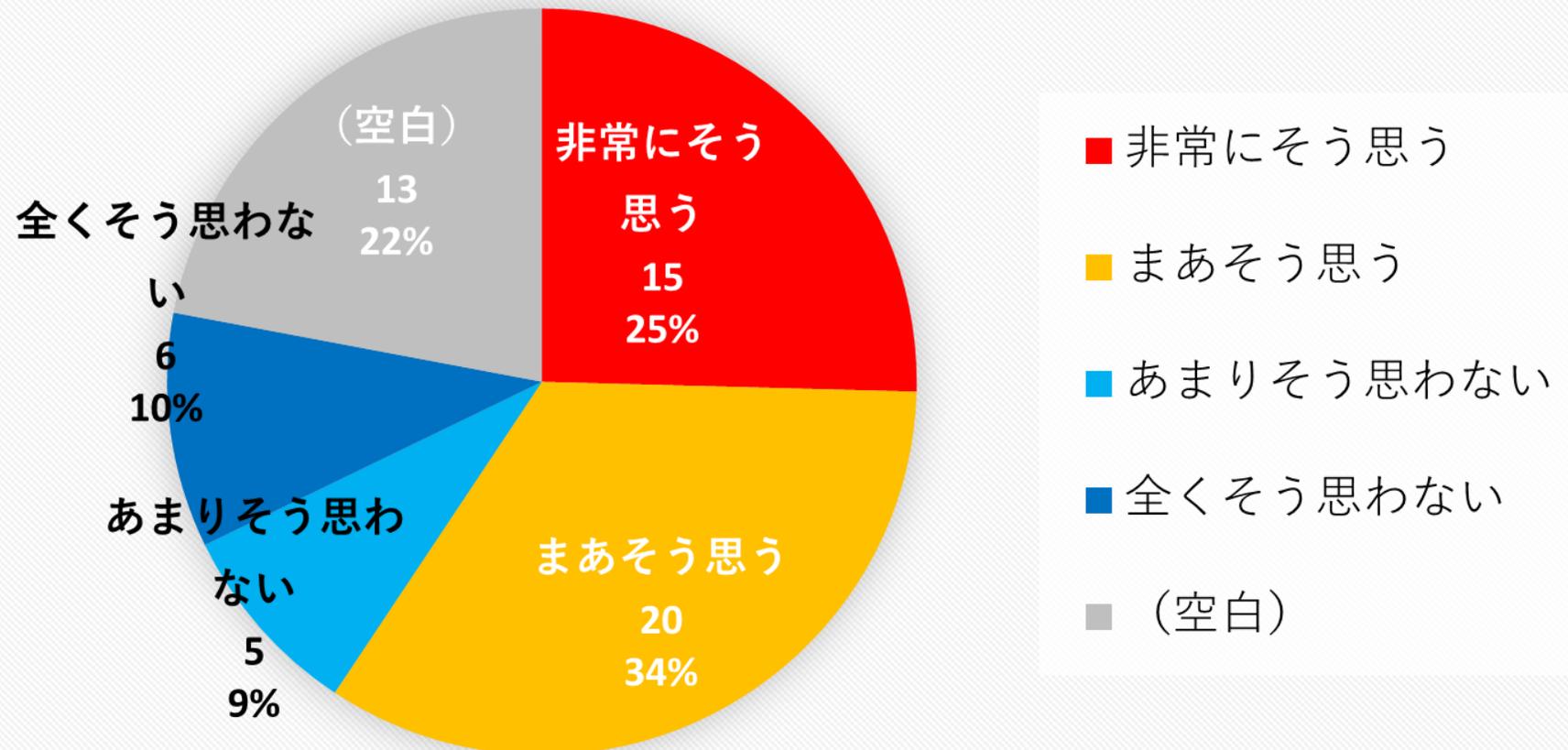
13 次年度も休日の地域部活動に参加したいと思うか。(1つ選択)



次年度の活動への参加希望

<保護者>

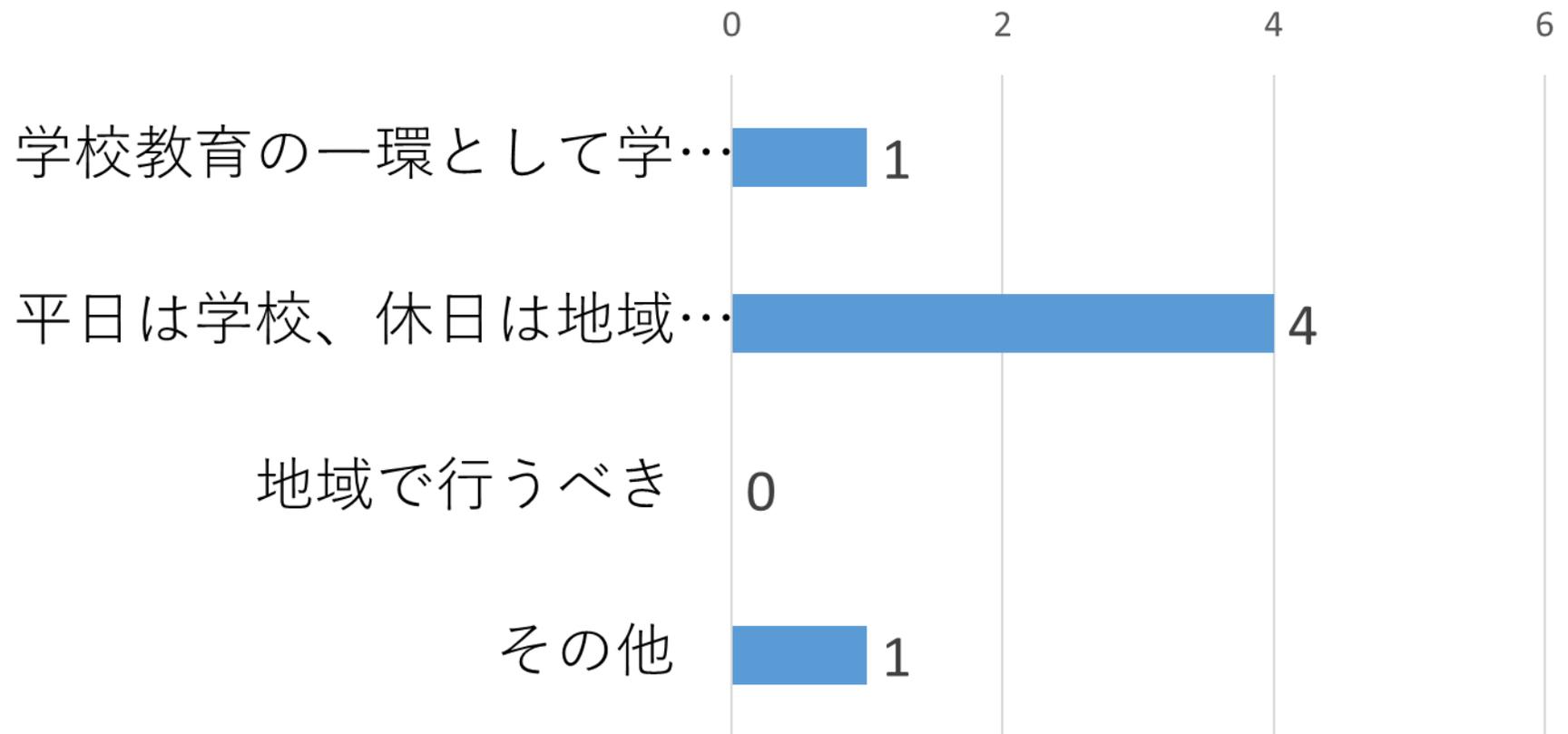
15 次年度も休日の部活動は地域部活動として実施して欲しいですか。



部活動は将来どうあるべきか。

<地域指導者>

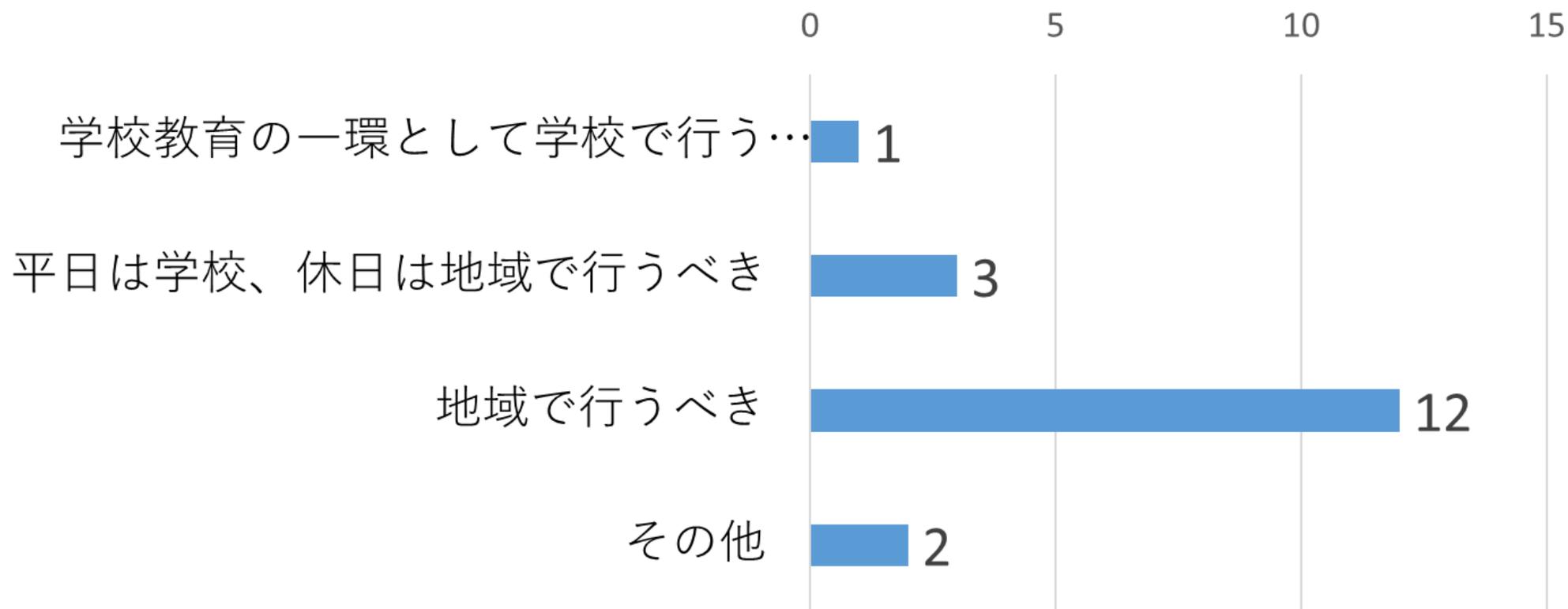
7 部活動は将来、どうあるべきと
考えますか。



部活動は将来どうあるべきか。

<教職員>

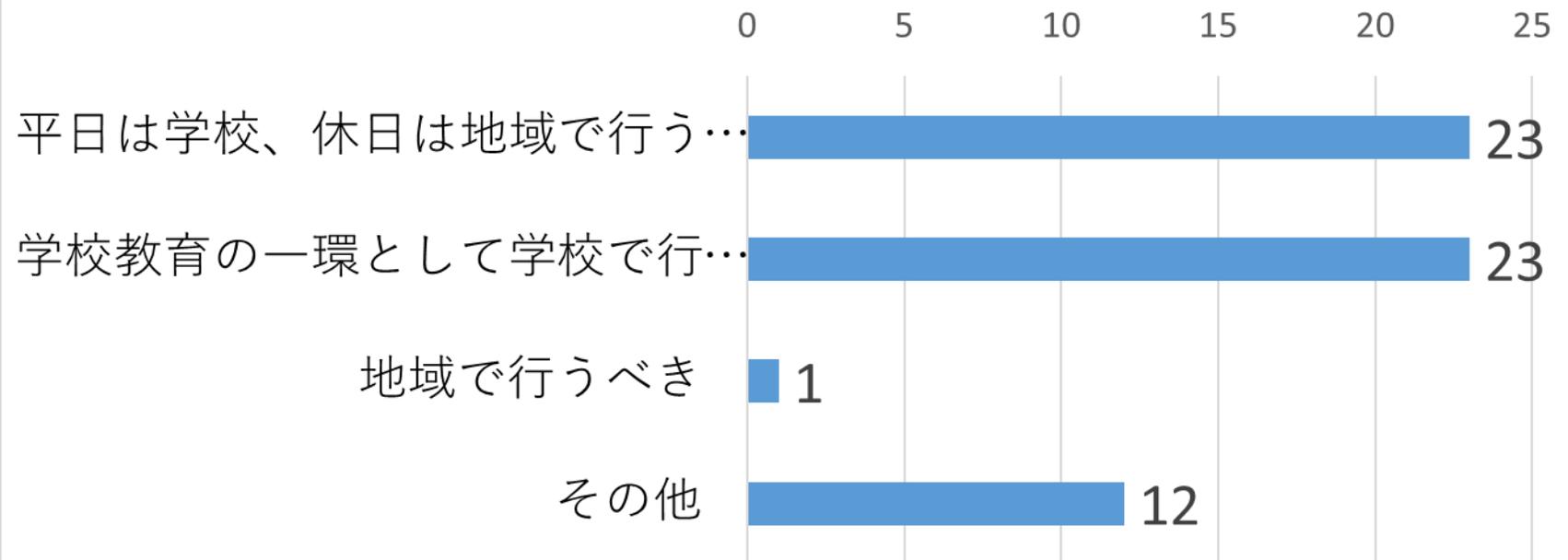
9 部活動は将来、どうあるべきと考えますか。



部活動は将来どうあるべきか。

<保護者> ①

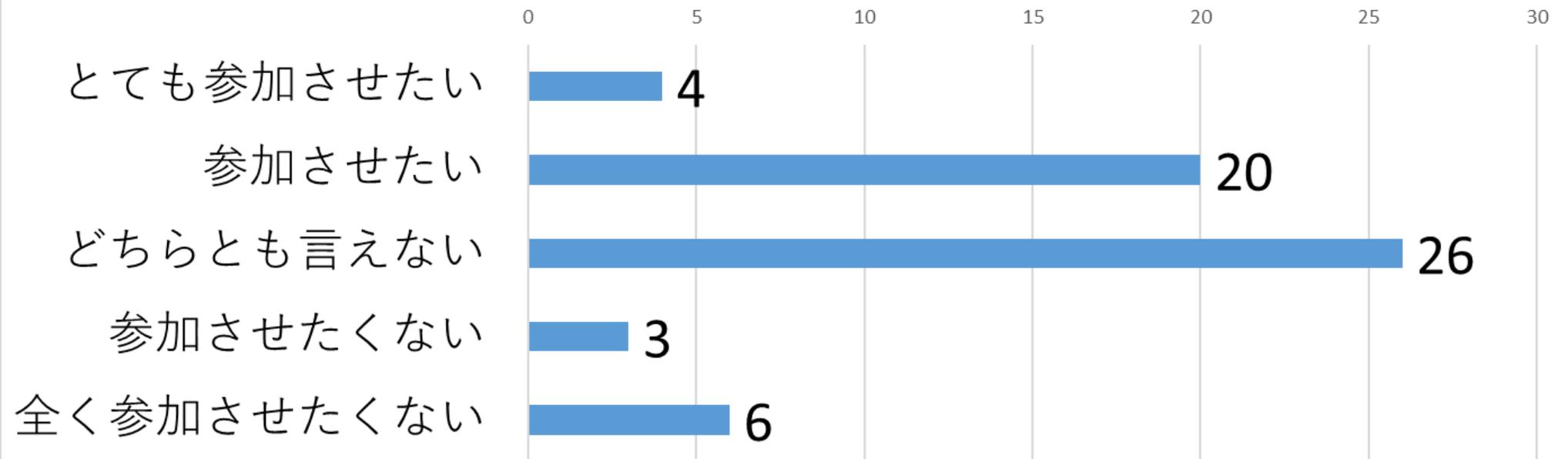
9 部活動は将来、どうあるべきと考えますか。(保護者)



部活動は将来どうあるべきか。

<保護者> ②

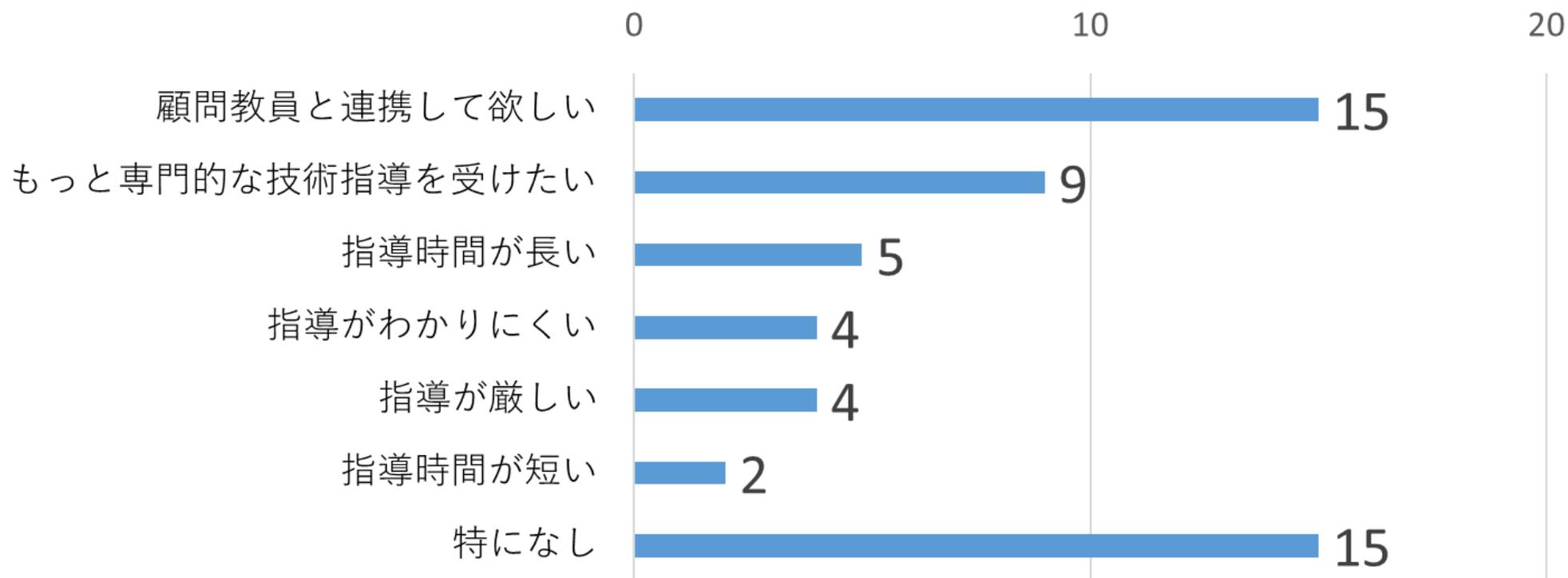
19 地域部活動に参加する際に保護者負担があっても参加させたいですか。



今後の課題点

<生徒>

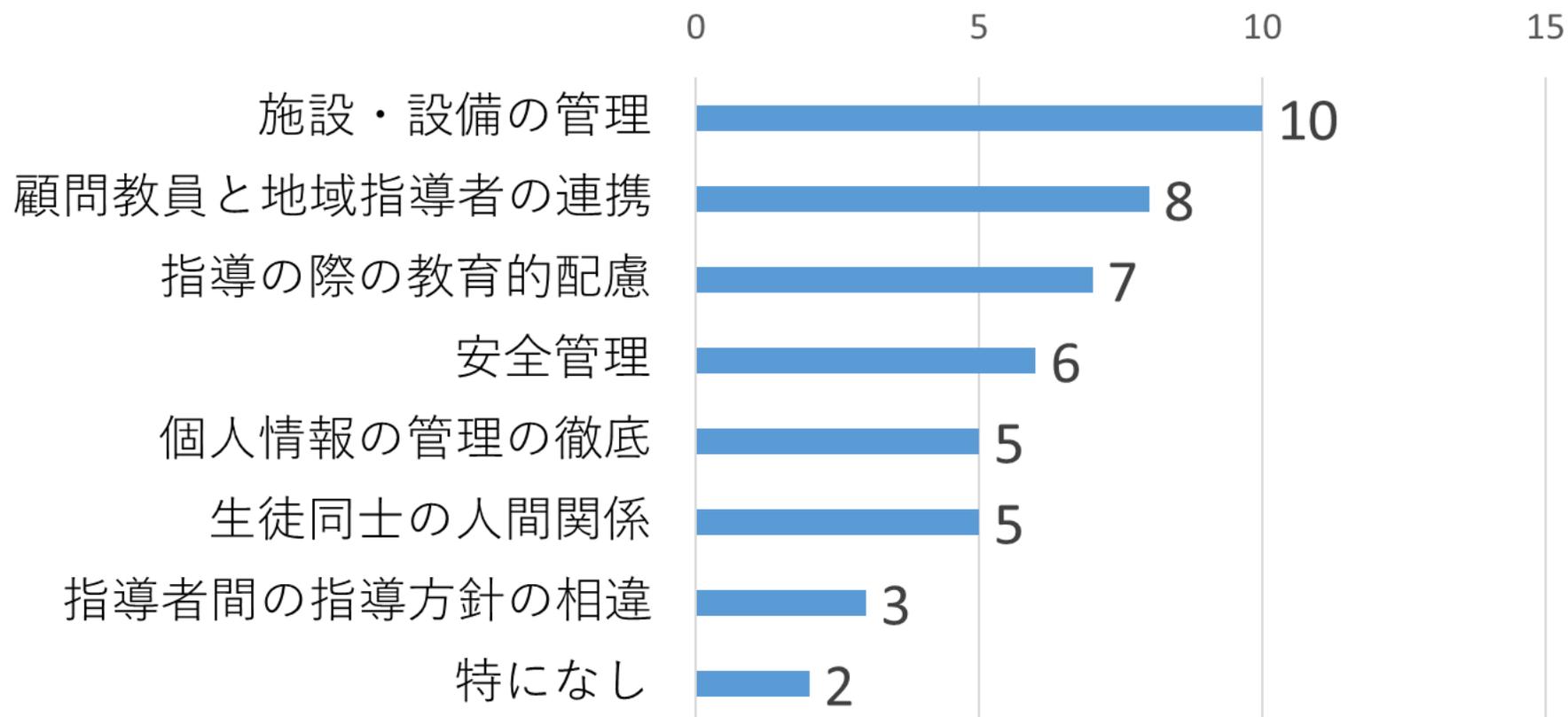
12 地域指導者の指導を受けてどのよう に感じていますか。(複数回答可)174



今後の課題点

<教職員>

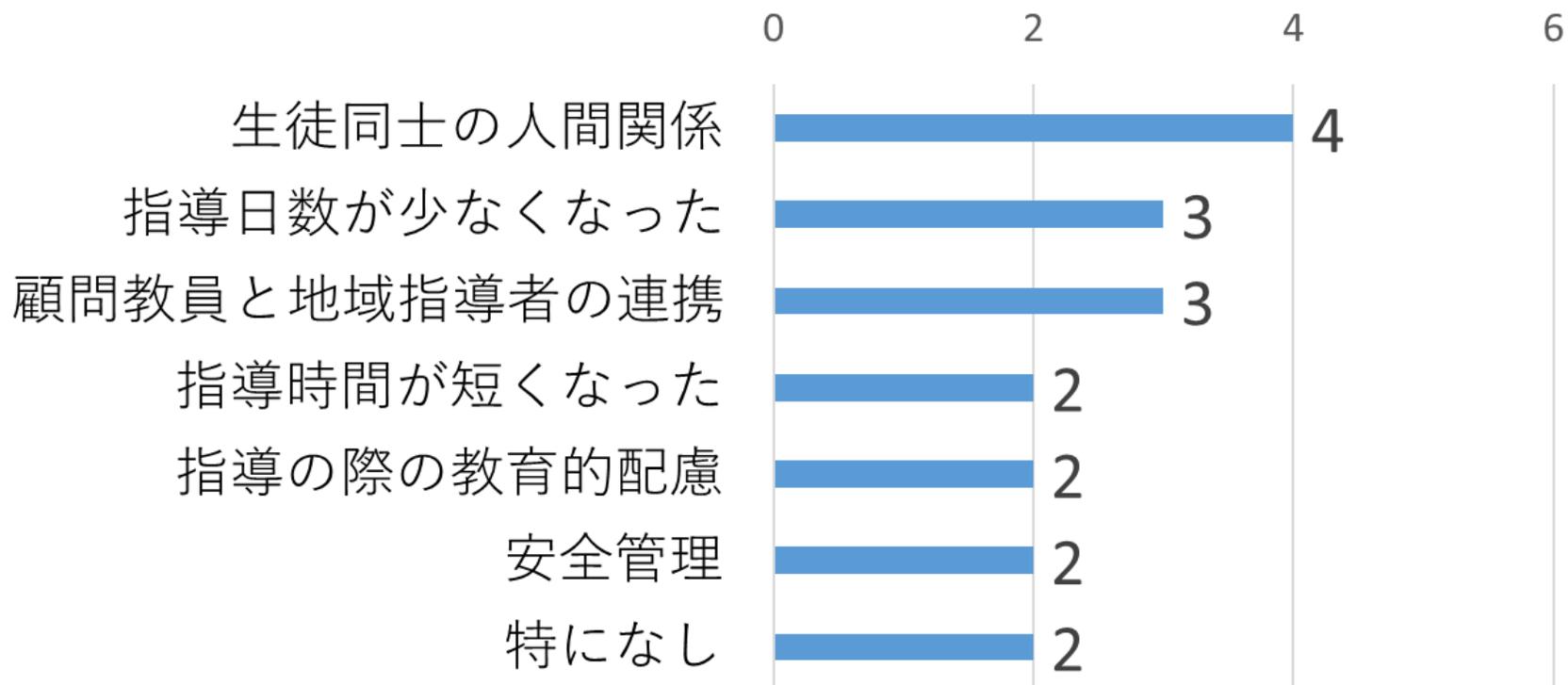
11 休日の地域部活動を実践して課題は 何ですか。(複数選択可)



今後の課題点

<地域指導者>

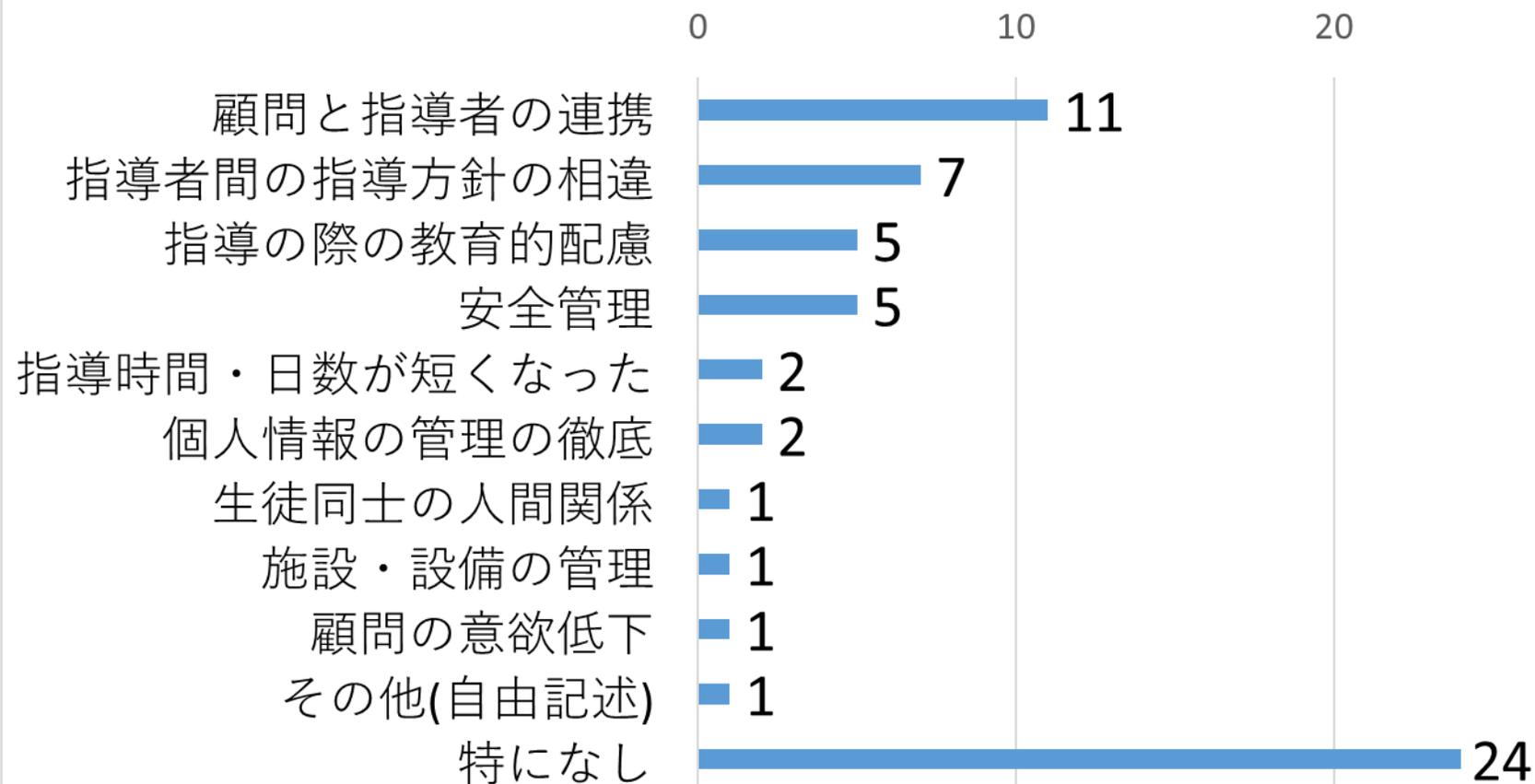
9 休日の地域部活動を実践して、感じた課題は何ですか。(複数選択可)



今後の課題点

<保護者>

13 休日の地域部活動を実践して感じた課題は何ですか。(複数選択可)



★共通して挙げられた課題

○生徒、教職員、地域指導者、保護者の
4者に共通して挙げられた課題

- ・「顧問と指導者の連携」

○顧問教員と地域指導者の両者から挙げられた課題

- ・「指導の際の教育的配慮」
- ・「生徒同士の間人間関係」